



今号の紙面から ● 3面 市議会のうごき ● 3面「これからの公共施設のあり方について」市民説明会を開催します

自分でできる みんなで取り組む

大雨対策

大雨に 備えよう!!



増水時の境川
鶴間橋下流にて(2016年8月22日午前11時39分撮影、
写真提供:東京都建設局南多摩東部建設事務所)

日本は雨の多い国です。梅雨の時期には、各地で大雨による甚大な被害が発生しています。昨年8月22日に接近した台風9号の影響により、市内各地でも床上・床下浸水や道路冠水、倒木、公共交通機関の運休が発生し、市民生活に大きな混乱が生じました。

市は、同日午前8時30分に災害対策本部を設置し、土砂災害警戒区域に指定されている場所や、崖・斜面や境川の近くにお住ま

いの方に対し、避難勧告を発令。これにより、28か所開設した避難施設に270人以上の方が避難することになりました。

このような大雨による災害は、今後も発生することが想定されます。しかし、大雨は地震とは異なり、事前に天気予報等による予測ができ、減災に対する行動がとれます。ご自身やご家族、近隣の皆さんのために事前の対策をお願いします。



平常時の同所

わたしの家は大丈夫?

問 防災課 ☎724・3218

市内を流れる川の浸水予想区域は、町田市洪水ハザードマップでご確認いただけます。また、土砂災害警戒区域等は町田市土砂災害ハザードマップで同様に確認できます。災害時に慌てず適切な行動をとるために、ご自身の家の周りや、避難施設までの道路が風水害時に安全かどうか、日頃から確認しておきましょう。

これらのマップは、防災課(市庁舎3階)や各市民センターで配布しているほか、町田市ホームページでご覧いただけます。

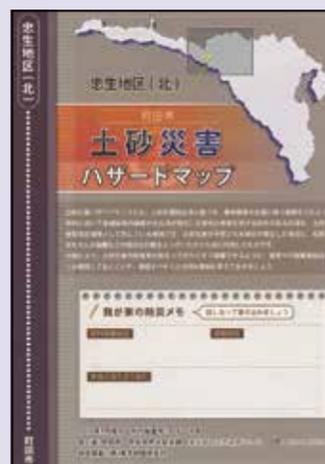
市HP

町田市洪水ハザードマップ

町田市洪水ハザードマップには、大雨により市内を流れる境川、鶴見川、真光寺川、恩田川の各河川が氾濫した場合に、浸水被害の発生が予測される地域が示されています。また、避難施設、自主防災組織、事前対策、避難時の心得など、災害時に役立つ情報が掲載されています。



町田市土砂災害ハザードマップ



町田市土砂災害ハザードマップには、土砂災害防止法に基づき、崖崩れや地すべり、土石流などの土砂災害の危険がある市内の区域を、土砂災害警戒区域として示しています。また、土砂災害に関する情報や避難時の心得、事前対策など、災害時に役立つ情報が掲載されています。(東京都による)警戒区域の指定に合わせて順次作成しているため、お住まいの地域によっては作成していない場合があります。詳細は、お問い合わせ下さい。

皆さんでできる大雨対策を、
2面で紹介しています。

もし大雨になったら



いつ避難すればいいの?

問 防災課 ☎724・3218

災害の発生が差し迫り、避難が必要になった場合は、市から呼びかけを行います。避難勧告等や開設している避難施設の情報は、町田市メール配信サービスや防災行政無線放送、町田市ホームページ等でお知らせします。呼びかけが行われたら、状況を判断し、落ち着いて速やかに行動して下さい。

名称	とるべき行動
避難準備・高齢者等 避難開始	避難に時間のかかる方(お年寄りの方、体の不自由な方、小さなお子さんがいらっしゃる方など)と、その避難を支援する方は避難を開始して下さい。なお、避難施設への避難が困難な場合は、建物の上の階や近くの安全な場所に避難して下さい。それ以外の方については、気象情報に注意し、危険だと思ったら早めに避難をして下さい。
避難勧告	速やかに避難を開始して下さい。外が危険な場合は、建物の上の階に避難して下さい。
避難指示(緊急)	緊急に避難して下さい。外が危険な場合は、建物の上の階へ緊急に避難して下さい。

※2016年12月26日に名称が変更されました。

メール配信サービスにご登録をお願いします。

これらの緊急の呼びかけのほか、気象情報等をお知らせします。

